

金融庁監督指針改正(2008年8月)に対応した  
「市場性のあるクレジット商品に関する価格評価およびリスク管理」支援サービス

今年8月に改正が公表された監督指針により、「市場性のあるクレジット商品(CDS、証券化商品、ローン)」について、「適切な価格評価」「市場流動性を含むリスク管理」等が求められることになりました。「市場性のあるローン」とは、“市場で活発に売買が行われているローン”だけでなく、“将来売却の可能性のある全てのローン”を指しているものと解釈され、従来より幅広い資産に対する時価評価およびリスク管理が必要になりました。

また、会計上も2010年4月以降の決算において貸付債権の時価開示が必要となります。「適切な価格評価」を行うことができる体制を整えることは、会計上の要請に応えることにもなります。

当社では以上の要請に対応し、シンジケートローン、LBOファイナンス、不動産ノンリコースローン、サブ・パフォーミング・ローン、CDOに代表される信用リスクベースの仕組み商品等、**全てのクレジット商品**について、「適切な価格評価とリスク管理」を行うための各種モデル、データの提供および評価体制の構築支援サービスを開始しました。

<価格評価のための各種モデル、データ提供>

保有するモデル・ライブラリー、データベースより、ご要望に応じてセットアップして提供します。

信用リスクスプレッド：

信用リスク債権の時価評価に不可欠な“リスク相応のスプレッド”について、長年の蓄積に基づく**信用スプレッドのデータベース**(過去5年上場企業の推定スプレッドに基づく、個社、業種・格付別集計値)を提供。

各種信用リスク評価モデル：

**デフォルト/倒産確率モデル、スプレッド推定モデル、格付モデル**を利用することにより客観性のある信用リスク評価とスプレッド、割引率の設定をサポートします。

収益不動産の価値評価データ：

最近開発が完了した**Cap Rateモデル**により、客観的な割引率、証券化商品評価データを提供。

<価格評価およびリスク管理ツールの提供>

実際に価格評価、リスク管理を行うためのソフトウェア・ソリューションの提供を行います。

LBOファイナンス、サブ・パフォーミング・ローン等のレバレッジドローン **EVシリーズ**

シンジケートローン **CREDITSurfer ONLINE**

社債、CDS、CDO **CREDITSurfer**

<価格評価およびリスク管理のためのインフラ構築支援>

価格評価やリスク管理は継続的、安定的に行われなければならず、そのためには一定のインフラの構築が不可欠です。関連分野におけるコンサルティング実績に基づき、必要により協力関係にあるソリューション・ベンダー、データベンダー等を活用し、実務的なサポートを行います。

必要なインフラ(モデル、データ、ツール、運用組織)の定義

インフラ構築コストの積算

インフラ構築のプロジェクト推進支援

本サービスにご関心のある方は、電話あるいはメールにて遠慮なくお問い合わせください。

株式会社クレジット・プライシング・コーポレーション

東京都中央区明石町 8-1 聖路加タワー28F

担当 : 法月、本宮

TEL : 03-3524-7220 (代) FAX: 03-3524-7221

EMAIL : [hiroshi\\_norizuki@credit-pricing.com](mailto:hiroshi_norizuki@credit-pricing.com)

---

株式会社クレジット・プライシング・コーポレーションについて <http://www.credit-pricing.com>

特徴: 信用リスクおよび企業価値評価モデル設計を主業務に創業。  
金融機関系総合研究所における経験を活かし、中立的な立場から、  
付加価値の高い業務を提供する、独立系コンサルティング会社。

設立: 2001年

顧客層: 総合商社、大手銀行、地方銀行、信用金庫、生命保険、損害保険、  
ノンバンク、証券会社、投資銀行、ファンド会社、公的機関を中心に約 150 社

コーポレート・ミッション: 「日本における金融インフラ高度化への貢献」「時価概念 = “pricing”の普及」

金融工学と現実の取引の融合:

金融工学の手法を適用しつつ、理論に走りすぎることなく、実務に即した問題解決を図ります。金融機関等のクライアントに対する各種評価・リスク管理モデルの設計・開発の受託コンサルティングに加え、企業の経営戦略および財務戦略の策定に関わるコンサルティングを数多く実施しています。

---